

就業証明書

受付番号	
------	--

西暦 年 月 日

施設名称

(旧 _____)

施設所在地

〒 _____

施設長名(代表者名)

印

電話番号

下記の者は当施設において、以下の期間准看護師として就業したことを証明致します。

氏名	(就業時の姓 _____)
生年月日	西暦 年 月 日
就業期間	西暦 年 月 ~ 年 月 合計 年 ヶ月

- ※入学に必要とされる"7年間の就業歴"を証明する就業証明書を提出ください。
- ※1施設1枚を使用し、複数の施設になる場合はこの用紙をコピーして使用ください。
- ※証明書は必ず施設で記入し、公印を押印ください(本人の記入・修正は無効)。
- ※産前産後休業期間は就業期間に含めますが、育児休業期間は就業期間には含めません。
- ※施設が廃業している場合に限り、年金事務所が発行する「被保険者記録照会回答票」を提出ください。

※就業の始期月と終期月の考え方

- ・就業の始期が、月の初日でない場合も"1ヶ月"とみなす。
例) 5/31採用の場合、5月も"就業1ヶ月"とみなす。
- ・就業の終期が、月の最終日でない場合も"1ヶ月"とみなす。
例) 9/1退職の場合、9月も"就業1ヶ月"とみなす。

就業証明書の記入について

下記を注意ください。

施設名について	就業時の施設名が現在の施設名と異なる場合は、旧施設名称も記入ください。
氏名について	就業時の姓が現在の姓と異なる場合は、就業時の姓も記入ください。
就業期間について	<p>(1) 始期、終期とも西暦で記入ください。(巻末に年号読替表があります)</p> <p>(2) 現在就業している場合は、記入日までの期間を記入ください。</p> <p>(3) 常勤だけでなく、非常勤勤務(パート、アルバイト等)であっても、准看護師として就業していれば就業期間に含まれます。</p> <p>(1) 1ヶ月のうち1日だけの就業でも始期と終期に限り“1ヶ月”とみなします。 例：2009年6月6日から2015年10月1日まで A病院で就業し、10月2日に退職した場合＝合計6年5ヶ月</p> <p>【考え方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>2009年 6月 6日(6月1日から就業していたのと同等扱い)</p> <p style="text-align: right;">} 6年間の就業</p> <p>2015年 5月31日</p> <p style="text-align: right;">} 5ヶ月の就業</p> <p>2015年 10月 1日(10月31日まで就業していたのと同等扱い)</p> </div> <p>(2) もう少し短い期間で考えると・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>4月30日～6月1日までの就業があった場合、実質1ヶ月と2日ですが、就業証明書では、4月～6月までの3ヶ月と算定します。</p> </div>

※就業証明書記入日以降に、准看護師としての就業合計年数が7年に達する方について

証明書記入日以降～2025年3月31日までに通算就業年数が7年(84ヶ月)に達する方も、記入日における就業期間、合計年月を記し、提出ください

(後日、入学決定者は、通算7年以上の要件を満たした就業証明書を改めて提出いただきます)。